

しょうねん  
ぺろとちやろといたずらな少年

作・絵：なつめふうりん



sample



しょうねん  
ぺろとちやろといたずらな少年

—これは、とてもちいさなきょうだいネズミのちょっとした英雄記—

あるところに、ショーンという少年しょうねんがいました。  
ショーンは、おさないころからいたずらがだすきでした。  
しかし、おかあさんには叱しかられてばかりでした。

おちこんでしまったショーンは、ある時ときからぱったりと  
いたずらをしなくなってしまいました。  
おかあさんに、きらわれたくはなかったのです。

sample



sample



それなのになぜか、  
ショーンはまたもやいたずらの罰ばつとして、  
物置小屋もの置きにとじこめられるようになってしまいました——。



さて、てづくりのハンモックで  
すやすやねむっているのは、  
カヤネズミのきょうだいのぺろとちゃろです。

「ふたりでひとつ」という<sup>ことば</sup>言葉が  
ぴったりなぺろとちゃろは、おたがいのことを  
「きょーだい」とよびあいます。

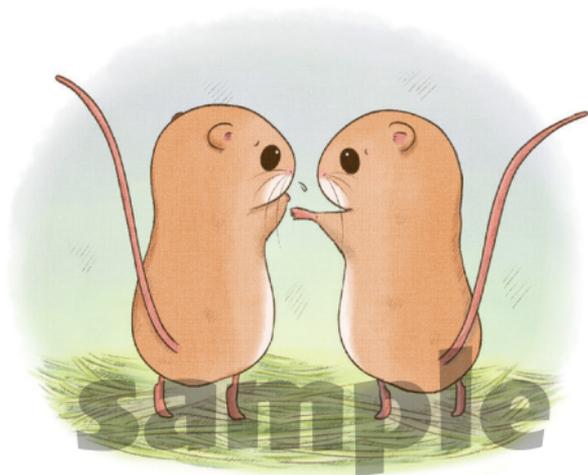
あさのこちのよいひとときに、

どんっ！

と、なにかが<sup>巣</sup>巣にぶつかったような  
おおきな<sup>おと</sup>音がひびきわたりました。

びっくりして<sup>外</sup>外をみると、  
すこしばかり<sup>からだ</sup>体のおおきい  
ネズミのすがたがみえました。





べろとちゃろは、やれやれとこまっているようです。

「ただよ、きょーだい！

そろそろやめてもらうようにいいにいこう？」

「そうだね、きょーだい！

これじゃゆったりねむれもしないよ！」

なにやらこのところずっと、いやがらせをしてくる  
わるいネズミがいるようです。

べろとちゃろは、いよいよそのネズミを  
つかまえに行くことにしました。



ためしよみ

は

ここまでです